

- 飯館村は、2017年3月末に福島第一原発の事故に伴う避難生活が解除されたが、帰村した村民は1,300人程度にとどまっており、本地域の再生・活性化のために、本協議会を設立し農泊事業に取り組むこととした。
- 帰村した住民だけでなく、他地域に住む人、NPO・企業・研究機関等との協働によるネットワーク型の地域再生を目指し、農泊事業を通して交流人口を増やしていく。

福島県飯館村



【採択年度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度

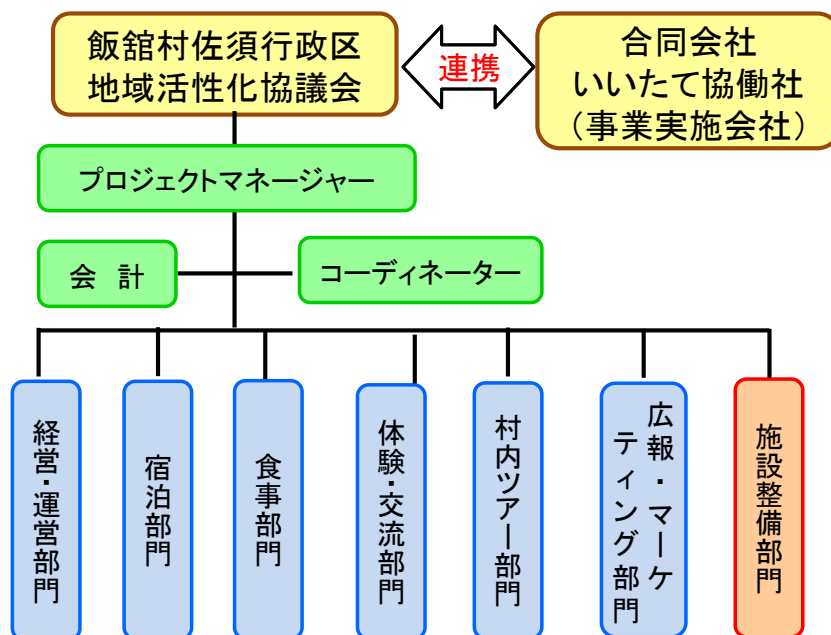


交流・宿泊施設に改築される前の仮設住宅



交流・宿泊施設に改築後

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 飯館村の厳しい現状や課題を十分に認識しつつ、飯館村ならではの宿泊、食事、体験・交流、村内ツアー等の斬新なメニュー開発と具現化のための各種モニター事業を実施。
- 村民が福島第一原発事故で被災し、仮住まいした仮設住宅を農泊の交流・宿泊施設に改修・移築し、体験・交流拠点として活用。



稲刈り体験



村内ツアー体験



餅つき体験

【取組内容】

《農泊推進事業(ソフト事業)の実施内容》

【飯館村佐須行政区地域活性化協議会 が実施】

平成31年度からの事業開始に備えて下記活動を行い、それぞれノウハウの取得や段取りが整った。

- 宿泊施設の整備検討
簡易宿泊施設としての諸手続き、什器類や調理用器材の調達等
- 食事に関する検討
講師の先生を招いて食事に関する講義と調理実習を実施等
- 体験・交流メニュー開発
稲刈り体験や村内モニターツアーを実施及びそのアンケート実施
芋煮、そば打ち、餅つき等の体験活動を実施
- ワークショップの開催
ワークショップを開催し、事業活動の報告と意見聴取を実施
- マーケティング
ホームページを開設
- 運営ノウハウ吸収
4地区の農泊類似事業を現地調査し、運営ノウハウを吸収
- 事務局運営
定期的な協議会及び各検討部門会議を開催し、方針決定

《施設整備事業(ハード事業)の実施内容》

【特定非営利活動法人 ふくしま再生の会 が実施】

- 宿泊施設の整備
仮設住宅を移設・改築して交流・宿泊施設(簡易宿所)を建設
- 給水施設の整備
交流・宿泊施設に供給する水道用の井戸を掘削

インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約